

真田丸
その後

— 松代学講座 —

生誕300年 恩田木工民親に学ぶ

第4回「『戌の満水』その時松代は
—水害を読みとく、語りつぐ—」

寛保2年(1742年)8月 千曲川を襲った大洪水(戌の満水)、松代藩領では1200人を超える死者が生まれました。山間部では土石流、千曲川本流では堤防が決壊、松代城下町は壊滅的な被害を受けました。大洪水を発生させた要因は何だったのでしょうか。松代藩に残された史料を中心に探ってみます。

「松代のことは松代で語りつぐ」是非ご参加下さい。

日 時 平成29年9月23日(土)

午後13時30分～3時30分

講 師 青木 隆幸氏(長野県立歴史館学芸部長)

会 場 松代公民館体育館

参加費 500円

申し込み不要・直接会場へ

第5回 「『名臣 恩田木工』の登場をめぐる」

単なる「美談」としてではなく、『日暮硯』が伝えようとしたものは何か、について考えます。その際に、松代藩政の展開の中での真田家臣団の構造が重要な論点となります。

日 時 平成29年10月14日(土) 午後1時30分～3時30分

講 師 海野 修氏(俊英高校教諭)

会 場 松代公民館体育館

参加費 500円 申し込み不要・直接会場へ

第6回 日 時 平成29年11月18日(土) 午後1時30分～3時30分

会 場 松代公民館体育館

参加費 500円 申し込み不要・直接会場へ

詳細決定次第、またお知らせします。ご期待下さい!

主催 NPO 法人夢空間松代のまちと心を育てる会 松代学講座運営委員会

〒381-1231 長野市松代町松代(伊勢町)577 TEL 278-1277

共催 松代観光推進機構